

RobecoSAM について

RobecoSAM は 1995 年に設立されたサステナビリティ投資に特化した投資のスペシャリストです。資産運用業務の他、各種インデックス、インパクト分析と投資、サステナビリティ評価、ベンチマーク作成サービスを提供しています。資産運用業務は資産保有者である機関投資家と金融機関を対象に、公開・未公開企業へのさまざまな ESG（環境・社会・ガバナンス）統合投資を行っており、特に「資源の効率化」をテーマとする各種戦略で高い実績を誇ります。RobecoSAM は、S&P Dow Jones Indices とともに世界的に認められた Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) を発表しています。また、3,800 社を超える上場企業の ESG の取り組みを分析する Corporate Sustainability Assessment (CSA) を毎年実施し、それに基づいて財務上重要なサステナビリティ情報を集めた世界最大級の総合データベースを構築しています。また、CSA のデータは、Robeco Group の子会社が運用している 873 億米ドルの資産にも適用されています。

RobecoSAM は、1929 年に設立されたオランダの資産運用会社、Robeco の姉妹企業です。両社は、オリックス株式会社が株主となっている Robeco Group の子会社です。RobecoSAM は、持続可能な投資慣行を推進する立場から国連責任投資原則 (UNPRI) に署名している他、Eurosif、ASRIA (アジア持続可能責任投資協会)、Ceres (環境に責任をもつ経済のための連合) のメンバーとなっています。本社はチューリヒにあり、およそ 130 人の専門家を擁しています。

RobecoSAM の学術活動

RobecoSAM は、学術機関とのリサーチパートナーシップを進める積極的なアプローチを採用しています。こうした共同調査の目的は、豊富な知見と発想力でサステナビリティファイナンス産業をリードする RobecoSAM の足場をさらに固めるとともに、独自のデータベースの価値を生かし、サステナビリティを投資プロセスに統合するための先端的な手法を開発することです。この枠組みでは、有力な学術機関との広範囲な協働とスポンサーシップを重視しています。RobecoSAM は全てのリサーチ活動において、プロジェクトの設計、主管、監督で積極的な役割を果たしています。

この一年、RobecoSAM は以下の学術機関と共同調査を実施しました。

- ハーバード・ビジネス・スクール、組織行動論ユニット (米国マサチューセッツ州ケンブリッジ)
- ハーバード・ケネディスクール・オブ・ガバメント (米国) および Foundation Strategy Group (米国)
- 香港技術大学 (香港)
- クイーンズランド大学 (オーストラリア)
- シエナ大学 (イタリア)
- ストラックライド大学 (英国)

また、RobecoSAM のリサーチアナリストの多くは学界や業界との交流や実務経験があるため、担当する産業の業界関連団体のメンバーとなっています。

PwC Japan グループについて

PwC Japan グループは、日本における PwC グローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社（PwC あらた有限責任監査法人、PwC 京都監査法人、PwC コンサルティング合同会社、PwC アドバイザリー合同会社、PwC 税理士法人、PwC 弁護士法人、PwC サステナビリティ合同会社を含む）の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。

複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japan グループでは、監査およびアシュアランス、コンサルティング、ディールアドバイザー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働させる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約 5,500 人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズにより的確に対応したサービスの提供に努めています。

PwC は、社会における信頼を築き、重要な課題を解決することを Purpose（存在意義）としています。私たちは、世界 157 カ国に及ぶグローバルネットワークに 223,000 人以上のスタッフを有し、高品質な監査、税務、アドバイザーサービスを提供しています。

PwC Japan グループのサステナビリティサービスの詳細は、www.pwc.com/jp/sustainability/ をご覧ください。